民報
あばしり
NO.1233
9月8日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL四三一－四四五八
FAX四三一－四四五七

# 原水爆禁止世界大会報告会開かれる

原水爆禁止世界大会報告会が29日（木）エコーセンターで開かれました。

村椿さんは昨年の広島に続き長崎大会への代表参加です。北海道から135人（30歳以下が6割）全国で6千人が参加しています。

8月8日に「遺構めぐり」に参加した村椿さんは「爆心地から600m離れた山里小学校や浦上天主堂、長崎医科大学の被害について長崎のボランティアの方から丁寧な説明を受けた。死傷者数を見ると長崎の被害は広島と比べて少なく見えるが、爆弾の威力は広島の何倍もあり、黒こげになった人など広島よりもすさまじい。また、器のような長崎の地形により被害をまぬがれた南側地区には歴史的な建造物が残り、広島とは違ったおもむきのある街だった」と話していました。

参加者からは「核兵器禁止条約が採択され、批准国が25ヶ国となり、条約の発効が見通せるところまで来たというが、核保有国からの妨害もある中での核兵器廃絶の展望について知りたい。」との意見が出されました。

村椿さんは「まず、『ヒバクシャ国際署名』を10月に行われる国連総会に向けて集め、さらに来年のＮＰＴ再検討会議に向けて運動を大きくしていこう」と呼びかけました。また、「来年は網走から若い代表を送るため、早くから声かけをしていきたい」と話していました。

# 9月議会はじまる

第3回定例会が9月3日から始まりました。一般質問は10日から始まります。

村椿議員は、昨年の松浦議員の「市民アンケート」で意見が多かった

一、ごみの収集について①高齢者への分別方法の周知について②収集時に置いて行かれるゴミについて③ゴミの収集状況について④容器包装用プラスチックについて

二、高齢者の除雪対策について①市道の除雪状況について②除雪サービスについて③高齢化への対応について質問します。質問は5番目で10日午後になる予定です。傍聴をお願いします。

松浦議員は

一、投票率向上の取組みについて①市選管として、この間、投票率向上に向けて、どのようなの取組みをしてきたのか。②投票所ごとの投票率の状況③投票所の改善（区割り、設置増）。

二、出入国管理法施行に伴う問題①外国人技能実習制度②外国人労働者の網走での状況③特定技能1号・2号など在留資格④外国人労働と行政の果たす役割。

三、学校給食の無償化について①子どもの貧困化②保護者の負担状況③滞納状況④憲法26条「義務教育は、これを無償とする」について質問します。

質問は10番目で11日の午後になる予定です。傍聴をお願いします。

## 松浦さとし奮戦メモ！

9月議会が3日から始まり24日まで開かれます。前半は、補正予算案や条例改正案の審査と一般質問が行われます。後半は、認定第1号平成30年度各会計決算と認定第2号水道事業会計の決算審査が13日～18日までの実質3日間にわたって審査を行い、20日は総括審議、取りまとめをします。

24日に平成30年度各会計決算審査特別委員会の審査報告があり、認定第1号、第2号の決算を認定するかについて反対・賛成の討論を行い採決し、閉会となります。

長い議会日程ですが、市民のみなさんから2議席を与えていただいたお陰で決算審査を村椿議員と分担してやれることに充実感を感じながら、最後まで市民の目線で審査にあたります。

## 村椿ちゃんが駆ける

先日、合唱団あばしりの定期公演をエコーセンターに見に行った。イギリス諸島の民謡、「上を向いた歩こう」「やさしさに包まれたなら」など懐かしいメロディーも聞かせてもらった。沖縄の歌「芭蕉布」では思わず口ずさむ方もいた。

何故、人は歌を歌うのだろう。団歌「ひとはうたう」には共感する。厳しい冬の寒さにも負けず、せつなくもたくましく生きる人々。それが私たちオホーツク人だ。マーラーの若い頃の失恋の苦悩をうたった曲もあり、挑戦を続ける団員の姿に元気をもらった。

あばしり流氷まつりでは、「かまくらくらぶ」は今年「チコちゃん」に挑戦した。続けていくことが大切だ。議会があり、考えている余裕は無いが、来年も冬の寒さに負けずに雪像作りを頑張ろうと思う。

## 流氷

仲秋の名月に供えるススキの季節になりました。大きな株になって群生する高さ1～2mとなる多年草です。葉は硬く幅6～20中央脈が白く、縁はざらつきます。細長く線形です。長短の柄がつく小穂が対となって10～25本の総（花穂）に多くつきます。この総を動物の尾に例えてオバナと言います。根茎は短く多脚的に分岐し、硬質で節は緊密です。秋の七草のひとつでもあります。集落付近では、焼け跡に豊富に自生するため棹の根本から刈り取って屋根葺きの材料にしました。これを茅（かや）と言います。また炭俵、草履（ぞうり）、箒（ほうき）、薫物（たきもの）等いろいろに利用されました。春先に火入れをして管理しないと松などの樹木の林に変わっていきます。葉幅が非常に狭くなるイトススキ、葉に黄斑（おうはん）の入るものをタカノハススキと言います。これらは、庭に植えて観賞用にされます。またナンバンギセル（淡紫色の花）を寄生させることもあります。

博物館友の会会員　小森